

かけはし



全国学力調査から見えること

「好きなこと」
五夢りん
5つのパワー

◆本年度4月に全国の小学校6年生及び中学校3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果が、夏休み中の8月25日に新聞紙上等で公表されました。

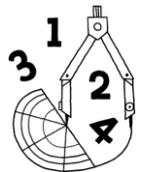
学力面では、各都道府県の差が縮まり「底上げ」が進んでいること、基礎知識面では進歩が見られるがその知識の活用にまだ課題が残ることなどが報告されています。

本校の結果を見ると、国語・算数とも基礎知識面では全国平均・奈良県平均とほぼ肩を並べています。毎日のときめきタイムや基礎基本の時間の継続、家庭学習の充実、子どもたちの意欲を高める日々の授業の積み重ね等が成果となって表れたと感じています。しかし、活用力を問う問題では、進歩が見られるとはいえ、まだ全国平均や県平均を下回っています。複雑な問題でもあきらめずに既習の知識を使って考える、様々な資料を比較したり関連づけたりして内容を深く読み取る、学んだ知識を生活の中に生かすといった学習を今後も根気強く積み重ねていかなければならないと感じています。



◆学習意欲や生活習慣と学力とのかかわりも、調査結果から読み取ることができます。

- ・家での勉強時間が長い。
- ・家で自分で計画を立てて勉強している。
- ・家で学校の授業の復習をしている。
- ・読書が好き。
- ・総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ・解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースをよく見ている。
- ・新聞を毎日読んでいる。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- ・テレビやパソコン、携帯電話などでゲームをしている時間が短い。 等



上記のような児童、つまり意欲的にそしてまじめに学習に取り組んでいる児童は正答率が高いという結果が出ています。当たり前といえば当たり前のことなのですが、それが今回のデータでよりはっきりと裏付けられたということです。

◆夏休み、陸上クラブや水泳クラブ、金管バンドクラブなどで頑張った人がたくさんいます。毎日、意欲的にそしてまじめにこつこつと練習に取り組んだ結果、市で1位になったり、県大会で自己ベストを出したり、前よりもうんと上達したりしました。『為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』運動も学習も同じ。やればできるのです。

◆「やる気と根気を持ち、苦しいことから逃げずに挑戦し続ける」そんな児童の育成をめざして、地域の教育力を活用しながら2学期以降も学校での取組を進めていきます。家庭でも、子どもの意欲を引き出す声かけなど、更なるご協力をよろしくお願いします。